

〈旧岩淵水門完成・荒川放水路通水90周年記念〉

# 岩淵水門と放水路

—近代以降の治水技術—



旧岩淵水門(手前、赤色の水門)と岩淵水門(奥、青色の水門)

大正13年(1924)に完成した**旧岩淵水門**は、治水の要として東京を水害から守ってきました。

現在は役目を**岩淵水門**に託し、その歴史的価値と日本の産業近代化への  
貢献が認められ、**近代化産業遺産**に認定されています。

本企画展では、新旧の岩淵水門と荒川放水路について、近代以降の治水技術とともにご紹介いたします。

2014年2月20日(木)~



荒川知水資料館

〒115-0042 東京都北区志茂 5-41-1



開館時間

9:30~16:30 (入館は閉館時間の30分前まで)

休館日

原則として毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日

お問い合わせ

☎03-3902-8745 (平日9:30~18:00) 国土交通省 荒川下流河川事務所 地域連携課

荒川知水資料館URL

<http://www.ara.go.jp/amoa/index.html>

料金

無料

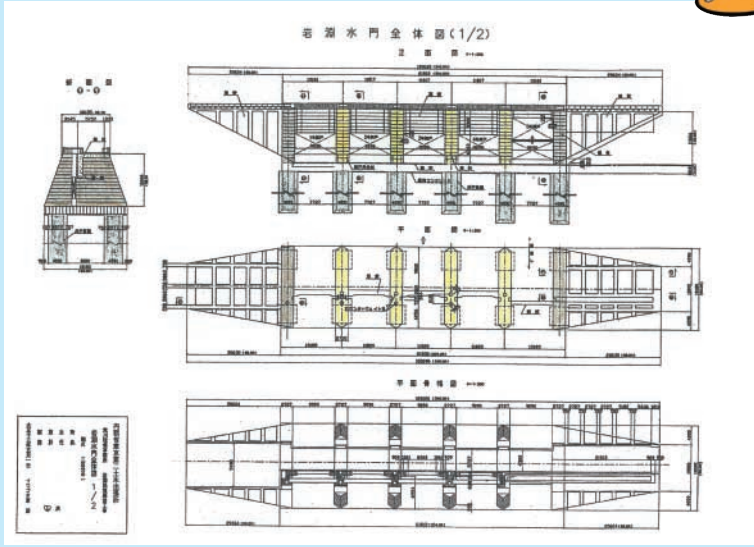
明治43年(1910)の洪水を契機と、帝都東京を守るために開削された荒川放水路。その治水の要として岩淵地先に建設されたのが**旧岩淵水門**です。パナマ運河工事で最先端の土木技術を学んできた青山士技師設計のもと、大正13年(1924)に完成したこの水門は、幾度と無く洪水から東京下町を守ってきました。



旧岩淵水門(完成当時)



荒川放水路通水式



全体図面(旧岩淵水門)

老朽化や地盤沈下などの理由で、昭和57年(1982)より**新しい岩淵水門**にその役目を託していますが、**歴史的建造物**として大切に保存され、地元の人々からも親しまれています。

今年(2014)、**旧岩淵水門完成・荒川放水路通水後90周年**を迎えます。これを記念し、新旧の岩淵水門それぞれの構造や特徴などを分かりやすく紹介いたします。

また、日本を代表する放水路や荒川放水路と同時代に建設されたについても紹介いたします。この展示を通じて、**水門の果たしてきた役割や近代以降の治水技術**について知って頂ければと思います。



荒川放水路(岩淵水門付近)

## 荒川知水資料館 **amoa** ARAKAWA MUSEUM OF AQUA

**1F** 新しい荒川に  
出会う  
フロア

ロビー / 荒川情報ボード /  
水槽コーナー /  
イコノス(荒川流域の衛星写真)

**2F** 荒川を  
知る  
フロア

「荒川放水路の歴史」展示 /  
「ゼロキロメートル地帯の出現」展示 /  
浸水シュミレーション映像 /  
荒川流域模型 / 青山士コーナー /  
「自然豊かな大河・荒川」展示 /  
企画展示コーナー

**3F** 荒川を  
見守る  
フロア

地域交流スペース / テラス /  
施設事務室



- JR「赤羽駅」(東口)より徒歩約20分
- 地下鉄南北線「赤羽岩淵駅」または、「志茂駅」より徒歩約15分
- 都バス「岩淵町」または、「志茂2丁目」下車、徒歩約10分